



「同僚性の下で」 ～授業づくり検討会～

本分教室では、年間を通して計画的に授業づくりに係る検討を全職員で行っています。今年度は8回の実施を計画しており、現在「授業づくり検討会Ⅱ」を行っています。平成27年度から継続的に行われているもので、児童生徒一人一人を複眼的に見つめ、個に応じた指導・支援の充実につなげています。職員数6名という小規模校のメリットを生かした取組です。

授業づくり検討会では、主に以下のことを話し合います。※詳細は別紙参照

- 指導計画の立案等に関する内容
 - ・教育的ニーズ、実態
 - ・中心課題と指導内容等(自立活動の流れ図及び個別の指導計画の検討)
- 授業実践に係る内容
 - ・学習指導案の検討
 - ・授業参観 (VTR) と協議 (改善の視点検討)
- 指導計画等の改善に係る内容
 - ・学習の評価や児童生徒の変容に基づく個別の指導計画等の修正

このような取組の積み重ねによるものでしょうか。日常的にも何気なく児童生徒や授業づくりに関する情報共有と検討が職員室で盛んに行われます。日ごとの児童生徒の反応の読み取り、関わり方の工夫、教材・教具の有効性等々、同僚性に基づく「日常的な授業づくり検討会」です。日々の貴重な研修にもなっており、本分教室の素敵な風土であると思っています。

時代の流れと共に変わらなければいけない物事もありますが、流されず普遍として大切にしなければいけない物事があります。



【授業づくり検討会の様子】

